

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 1 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に対する事業所独自の指針とマニュアルを整備する事を望む。研修会の報告や定期的な研修を行なう事で、全職員で取り組む体制となることを、期待する。	ほのぼの独自の指針を定め、マニュアル作成、内部研修と共に活用。又、外部研修参加。情報の共有。	ほのぼの独自の指針を定め、マニュアルの作成(他のマニュアルを参考に)、それを活用した内部の勉強会を月のカンファレンスで行っていく。又、外部研修の報告もカンファレンスで行い、情報を共有し職員全体でケアに取り組む。	24ヶ月
2	32	重度化した場合のケアや、看取りに対するケアなど事業所としての指針、マニュアルの整備する事を望む。職員がターミナルの研修に参加、勉強することで、受け入れる体制となることを期待する。	ほのぼの独自の指針を定め、マニュアル作成、内部研修と共に活用。又、外部研修参加。情報の共有。看取りに対し全職員で取り組む。	ほのぼのとしての、ターミナルの指針を定め、マニュアルを作成し、契約時に看取り時の方針の確認、説明、同意書をとる。全職員で利用者のケースカンファレンスを行い、必要時、家族、主治医と相談しながら、個々に合わせた看取りケアを行っていく。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。